

所属名	事務事業名	ページ番号
総務法制課	平和展事業	2
総務法制課	自治会等振興助成	3
総務法制課	公用車集中管理事業	4
総務法制課	公文書公開請求制度の実施	5
総務法制課	個人情報保護制度の推進	6
総務法制課	例規、主要契約等の審査	7
総務法制課	文書整理事業の推進	8
総務法制課	自体統計調査事業	9
総務法制課	基幹統計調査事業	10
総務法制課	調査員確保対策事業	11
総務法制課	国勢調査経費	12

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	平和展事業	事業期間	平成 4 ~ 年度
担当部署・係名	総務法制課 総務係	担当課長名	元松 直朗
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	多様な学習機会の提供	

1 事務事業の基本情報

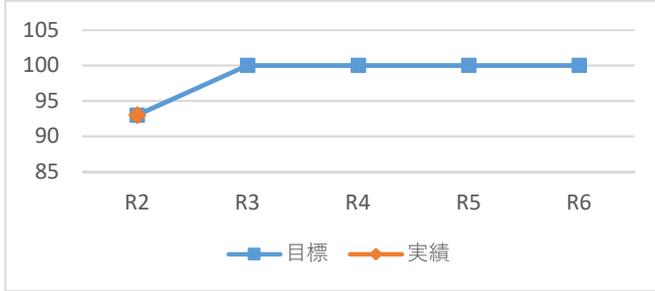
事業概要・目的	終戦から75年が経過し戦争の悲惨さを伝え知ることが難しくなっているなか、より多くの市民、特に若い世代である子どもたちに戦争の惨禍を伝え、平和の尊さについて改めて考える機会を提供するため、「佐賀市平和展」を開催する。
事業の対象者	市民
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成4年から毎年8月に実施。令和2年度で第29回目。 ・被災資料・写真パネル等の常設展示、体験者講話の収録映像放映。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,728				
うち佐賀市の負担額	1,728				

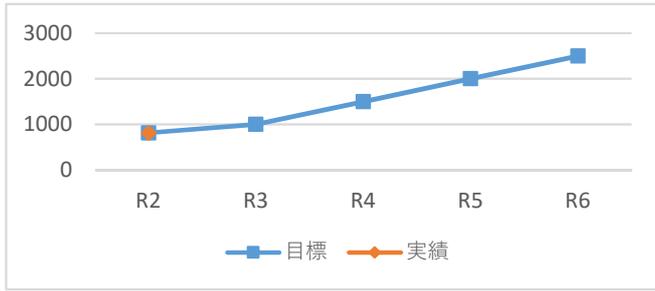
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
平和の尊さを再認識できた来場者の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
93	100	100	100	100	100	



Year	Target (%)	Actual (%)
R2	100	93
R3	100	
R4	100	
R5	100	
R6	100	

成果指標②						単位
来場者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
815	1,000	1,500	2,000	2,500		



Year	Target (人)	Actual (人)
R2		815
R3	1,000	
R4	1,500	
R5	2,000	
R6	2,500	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の悲惨さをより感じてもらうために、被災資料の実物展示を盛り込む。 ・来場者を増やすために、毎年異なる企画で飽きのこない内容にする。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自治会等振興助成	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	総務法制課 総務係	担当課長名	元松 直朗
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	市民活動団体への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	住民自治の根幹をなす自治会の支援を行うことにより、地域住民の融和、地域の活性化を図り、本市行政組織との密接な連携を形成する。				
事業の対象者	市民、自治会				
令和2年度 主な活動実績	自治会の円滑な運営支援と加入促進に努め、全校区の会長が集まる理事会を毎月開催し、各種課題の検討や情報の共有化を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	117,739				
うち佐賀市の負担額	117,724				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
単位自治会における自主活動数					件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
4,641	5,000	7,200	9,600	12,000	

成果指標②					単位
自治会に加入している世帯の割合					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
78.6	79.0	79.5	80.0	80.5	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
自治会協議会のHP等を用いて、自治会活動について情報発信を行っている。 また、市報により自治会活動がもたらす恩恵について広報を行うことにより、未加入世帯や若年層へ自治会の重要性についての認識を高め、自治会への加入を促進する。 自治会運営の継続性を確保しつつ、組織体制を強化できるよう今後とも支援していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公用車集中管理事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	総務法制課 総務係	担当課長名	元松直朗
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	公有財産の適切な取得・管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市が保有する公用車を総務法制課で集中管理することにより、用務先への職員のスムーズな移動を支援するとともに、適正台数を把握し遊休車両を減少させ、点検等の適正な維持管理をすることで、保有車両の効率的な運用ができ、財政負担の軽減が可能となる。				
事業の対象者	用務先で対応する市民・事業者等、市職員、本庁・支所内の公用車両				
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車の集中管理及び適正な維持管理を行った。 ・集中管理車入替計画に基づき、6台の入替を行った。新規購入車については、環境に配慮し、主に次世代自動車（電気自動車2台、ハイブリット車3台）を購入した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	55,045				
うち佐賀市の負担額	40,027				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
集中管理車稼働率（日単位）						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
87.3	90	90	90	90		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・集中管理車の稼働状況を把握しつつ、当面は現状通り保有車両の効率的な運用を行う。 ・現車両は10年以上経過する車両が多く、故障のリスクが大きくなるほか、進歩する環境・安全技術を享受できない。集中管理車入替計画に基づき、環境面に配慮した次世代自動車等を購入していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公文書公開請求制度の実施	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	総務法制課 文書法制室	担当課長名	元松直朗
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	適切な情報管理の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	公正で開かれた市政を実現し、市政に対する理解と信頼を深めるため、市が保有する情報を請求する権利を保障し、請求に基づきこれを原則公開する。また、市民に積極的に情報提供することが適当と認められる資料については、行政資料として、総務法制課情報公開・統計係(情報公開コーナー)で一般の利用に供している。
事業の対象者	市民（請求者）
令和2年度主な活動実績	令和2年度中公文書公開請求114件 うち公開件数95件、文書数283 令和2年度中行政資料閲覧者数43人 情報公開審査会の開催（年間3回、うち1回は書面審議）

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,433				
うち佐賀市の負担額	2,407				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
公開件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
95	100	100	100	100	100	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
情報を利用し自己の活動のための情報収集として利用する人が増えてきているので、情報の量だけでなく、より具体的な内容等、質を求められている。そのため、今後も情報の内容を充実させていく必要がある。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	個人情報保護制度の推進	事業期間	平成 14 ~	年度
担当部署・係名	総務法制課 情報公開・統計係	担当課長名	元松 直朗	
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	30情報共有の推進		
	基本事業	適切な情報管理の推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市が保有する個人情報についてその取扱い全般のルールを定め、市民が自己の個人情報の開示等を請求する権利を保障することにより、権利利益を保護する制度。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	・佐賀市個人情報保護条例・市長が取り扱う個人情報の保護に関する規則・個人情報保護法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	161				
うち佐賀市の負担額	161				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
個人情報開示件数					件	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
100						
活動実績②					単位	
個人情報保護審査会での諮問件数					件	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
18						

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>個人情報の取り扱いに関する市民の関心は大きくなってきており、今後も同程度は開示請求が行われるものと思われる。</p>

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	例規、主要契約等の審査	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	総務法制課 文書法制室	担当課長名	元松 直朗	
総合計画に おける位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち		
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進		
	基本事業	経営の仕組みの充実		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	【事業概要】 例規の制定改廃、議案に係る主要な契約等について、各課の起案者から起案の理由、内容の説明等を聴き取りながら、法的確性・法的正当性等の内容面と、表現の正確性等の形式面の両面から審査を行う。また、各課からの法令の解釈・運用に関する相談及び行政に係る法律相談への対応を行う。				
	【事業目的】 例規等の内容が法規範として妥当であり、公正な権力の行使、社会秩序の安定性の確保等の観点から正当性を有したものとすること。また、主要な契約等については、地方自治法、財務規則その他法令を遵守した正確かつ公正なものとする。				
事業の対象者	①本市の行政事務を遂行する上で必要な例規等（条例、規則、訓令、告示及び公告）、議案に係る主要な契約等 ②市職員				
根拠法令等	各種法令、規則等				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	15,849				
うち佐賀市の負担額	15,849				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
例規等の審査件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
657					

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

佐賀市の実情に応じた独自の政策や施策を実現していくために例規の整備は欠かすことができないものであることから、今後も適正に審査していく。また、地方分権の進展に伴い、地方自治体が自らの判断と責任で地域の問題に取り組む必要性が増加していることから、他市町村の例規等の整備状況についても適宜情報収集を行い、今後さらに適正で効率的な審査事務を行っていく。

令和3年度 事務事業実績報告シート

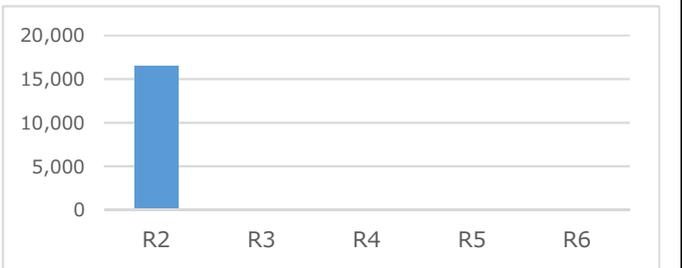
事務事業名	文書整理事業の推進	事業期間	平成 10 ~	年度
担当部署・係名	総務法制課 文書法制室	担当課長名	元松 直朗	
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	30情報共有の推進		
	基本事業	適切な情報管理の推進		

1 事務事業の基本情報

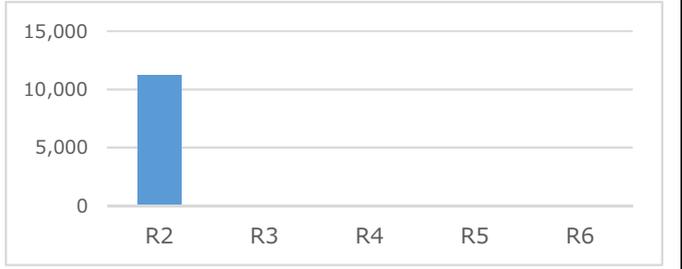
事業概要・目的	<p>【事業概要】 文書倉庫にある保存年限が到来した公文書を廃棄するとともに、執務室にある過年度の公文書を文書倉庫に移管・廃棄する。また、簿冊名、文書件名、保管場所、保存期間等を登録した公文書管理データの整備を行う。</p> <p>【事業目的】 職員が正しい文書取扱いを認識し、公文書が効率的で整然とした状態で保管されている。</p>				
事業の対象者	①庁内及び各支所等の執務室、文書倉庫又は倉庫に保有する公文書（文書、E13図面、写真、マイクロフィルム等） ②市職員				
根拠法令等	佐賀市文書規程				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	11,584				
うち佐賀市の負担額	11,584				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
新規に登録した公文書の簿冊数					冊
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
16,520					



活動実績②					単位
廃棄した公文書の簿冊数					冊
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
11,227					



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

永久文書の長年の蓄積により本庁の公文書量が増加し、文書倉庫が飽和状態となっていたことを踏まえ、H27年に文書管理システムを導入し、公文書の保管スペースの確保に努めてきた。また、文書管理システムの導入により、データで文書を管理することで、業務の効率化を図ってきたところである。今後も文書管理の適正化及び効率化を継続するとともに、職員への正しい文書取扱いについて更なる周知・徹底を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

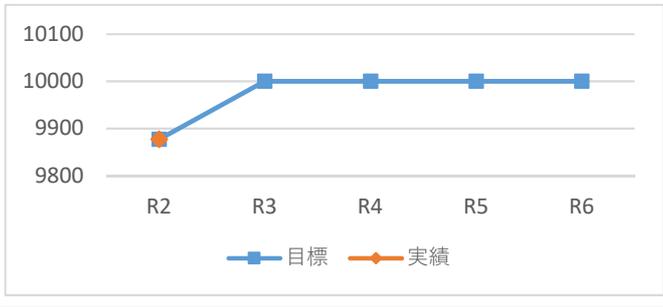
事務事業名	自体統計調査事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	総務法制課 情報公開・統計係	担当課長名	元松直朗
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

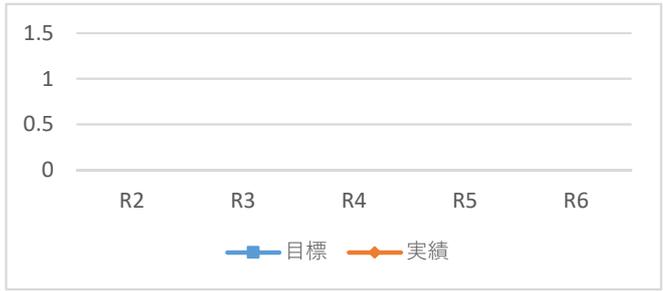
事業概要・目的	市民が必要な統計情報を利用できるように、 ①統計刊行物の作成と提供を行う。 ②統計情報の紹介を行う。				
事業の対象者	市民、事業所				
令和2年度 主な活動実績	「佐賀市のすがた」4,000部を発行 「佐賀市のすがた」音声版10部を作成 「令和元年度版佐賀市統計データ」を作成しホームページ上で公開 佐賀大学との連携事業において、約90人の学生へ、国が行う統計について講義を行った				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,930				
うち佐賀市の 負担額	3,908				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
統計データHPアクセス数					回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
9,877	10,000	10,000	10,000	10,000	



成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
統計データはネットでも公開しており、電話などでの照会は少なくなっている。 市報やHPなどで統計情報の紹介記事を掲載し、市民に興味を持ってもらえるようにする。

令和3年度 事務事業実績報告シート

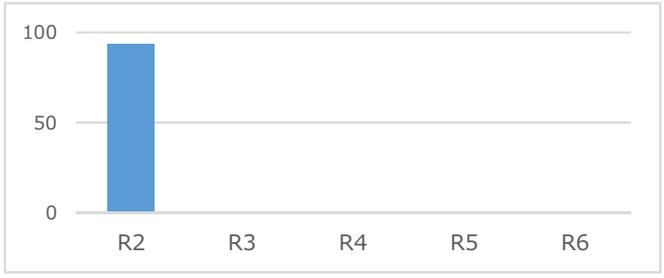
事務事業名	基幹統計調査事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	総務法制課 情報公開・統計係	担当課長名	元松直朗
総合計画に おける位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

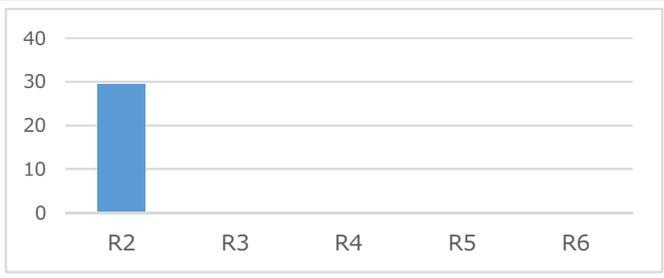
事業概要・目的	国が実施する基幹統計調査の事務の一部を行う。 1. 県統計分析課に指導員・調査員を推薦 2. 国からの委託調査を実行する				
事業の対象者	世帯、事業所				
根拠法令等	統計法、統計法施行令、地方財政法、佐賀県統計調査事務市町交付金取扱要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	4,088				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
調査票回収率					%
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
93.5					



活動実績②					単位
オンライン回答率					%
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
29.5					



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

年々個人情報への意識の高まりから調査が困難になってきている。
 セキュリティーの万全なオンライン回答を促進するなどの対策を取る必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	調査員確保対策事業	事業期間	昭和 50 ~ 年度
担当部署・係名	総務法制課 情報公開・統計係	担当課長名	元松直朗
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	①安定した統計調査を行うために、登録調査員（非常勤の公務員）を確保する。 ②毎年1回基幹統計調査の実施報告及び法律や接遇等に関する研修を行い調査員の調査能力の向上を図る。				
事業の対象者	20歳以上の市民（警察、税務、選挙に直接関係する者を除く）				
令和2年度 主な活動実績	市報にて登録調査員の募集を行った。 既登録調査員へ登録継続の依頼を行った。 コロナ感染症対策のため研修は行わなかった。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
登録調査員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
197	210	220	230	250		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
市報以外の広報を考える必要がある。 登録調査員の高齢化がみられるので、若年層への広報も必要である。

令和3年度 事務事業実績報告シート

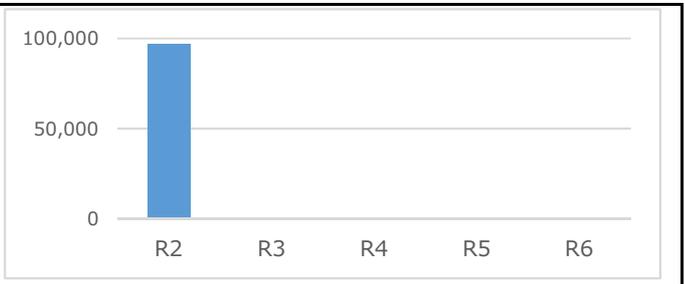
事務事業名	国勢調査経費	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	総務法制課 情報公開・統計係	担当課長名	元松直朗
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	経営の仕組みの充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国が行う5年周期の国勢調査について、佐賀市の調査を行う。				
事業の対象者	全市民（世帯単位）				
根拠法令等	統計法、統計法施行令、地方財政法、佐賀県統計調査事務市町交付金取扱要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	100,148				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
国勢調査報告世帯数					世帯
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
96,697					



年度	実績
R2	96,697
R3	0
R4	0
R5	0
R6	0

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



年度	実績
R2	0
R3	0
R4	0
R5	0
R6	0

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

規模が大きいため、調査員の確保や質の維持が難しくなっている。
世帯の個人情報への意識の高まりから、協力が得られにくくなっている。